

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	①理念の共有や浸透を図る方法を検討中。各ユニットのリーダー達との協力が必要。 ②理念がなぜ大切か、理念が実践にどのように関係しているのかを伝えていく必要がある。	①職員全員が理念に掲げられている言葉の意味を理解し、職員間で共有することができる。 ②理念の大切さを理解し、迷った時や問題に直面した時の支えとしていくことができる。	①各ユニット、模造紙に大きく理念を書き玄関に掲示する。(既に実行済み)また、朝の申し送りで唱和し、理念を意識してケアにあたる。 ②社内研修を利用し、そもそも理念がなぜ大切かを理解する。	6ヶ月
2	6	どのような時に協力が必要なのか、どのような人が入居しているのか、どのような人員体制となっているか等、GHのことを知って頂いたうえで協力体制を築いていく必要がある。	ご家族に対して、地域の方に対して情報を発信し、GHとしての地域での役割を果たしながら、「お互い様」の気持ちで共にGH入居者の生活を見守る目を増やしていくことができる。	・11月に新設されたGHの地域交流室で12月より認知症カフェを開催。相談機能や地域の集いの場として活用していく。 ・運営推進会議で、家族・地域の代表者と災害時に相互に支援体制が取れるよう協議していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。